

川崎駅周辺の災害時における行動ルール (案)



大地震が発生すると、交通機関の運行停止により、主要駅を中心に多くの人が滞留し、混乱することが予想されます。

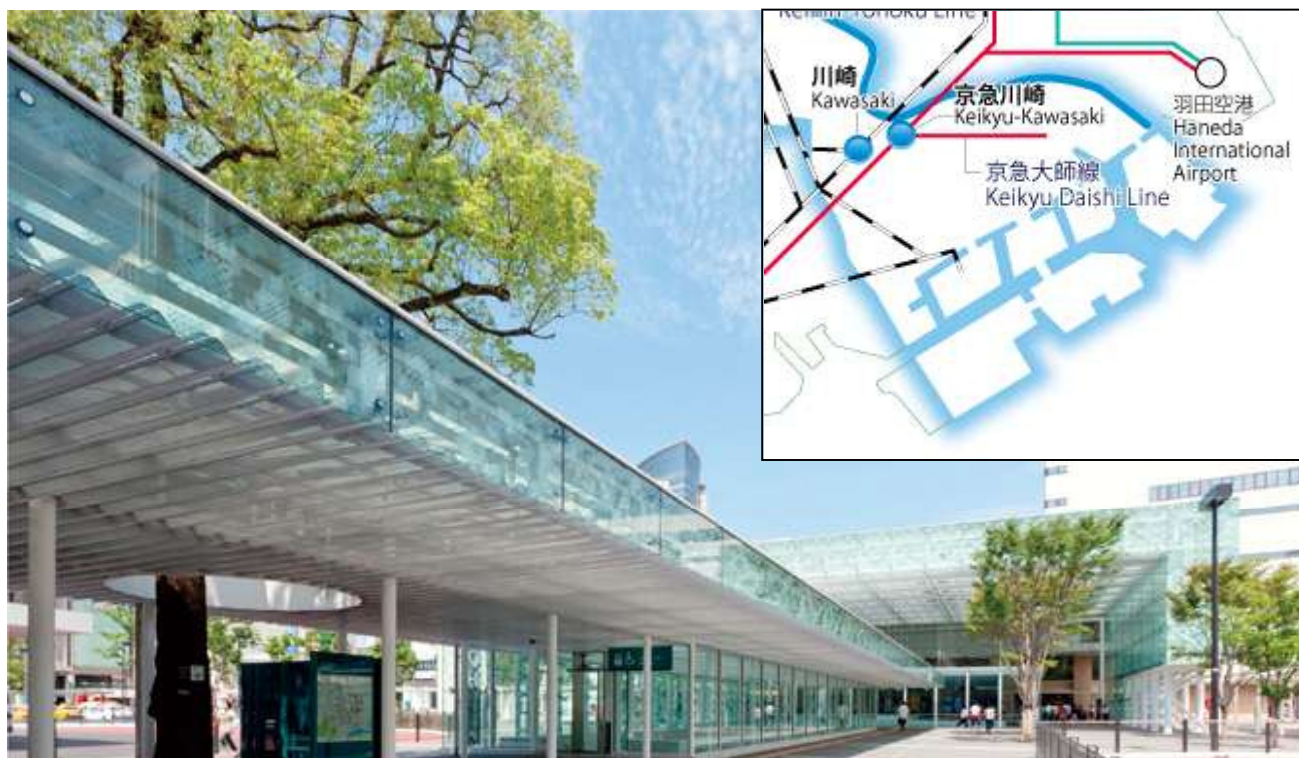
このため、川崎駅周辺の各機関の役割分担の明確化と、関係機関が相互に連携した取組を「川崎駅周辺の災害時における行動ルール」として定めています。

駅周辺の各施設、従業員、利用者等のみなさまにおかれましては、災害における地域としての備えに向けた取組に協力をお願いいたします。

川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会

川崎駅周辺の特徴

川崎駅は、東京と横浜の間に位置し、羽田空港も近いなど交通アクセスに優れ、交通・産業・文化の拠点である川崎の玄関口となっています。



川崎駅周辺には、大型商業施設、企業の業務ビル、高層住宅などが数多く立地し、都市機能が集積しています。そして、年間を通して多彩なイベントがあり、活気に満ちあふれる地域となっています。

春：アジア交流音楽祭



秋：かわさきハロウィン



夏：山王祭



冬：かわさきバスカー



行動ルールの概要



P3

想定被害

川崎市直下の地震(マグニチュード 7.3)により、駅前には約 19,000 人の帰宅困難者が発生

目標 滞在者の安全確保と混乱の抑制を図る

役割分担

各組織における対応内容を地域で共有し、自助、共助、公助で対応策を検討

自助

施設ごとに、身の安全確保と落ち着いた行動を徹底

P5

共助

川崎の地域力で、正確な情報提供と適切な誘導

P13

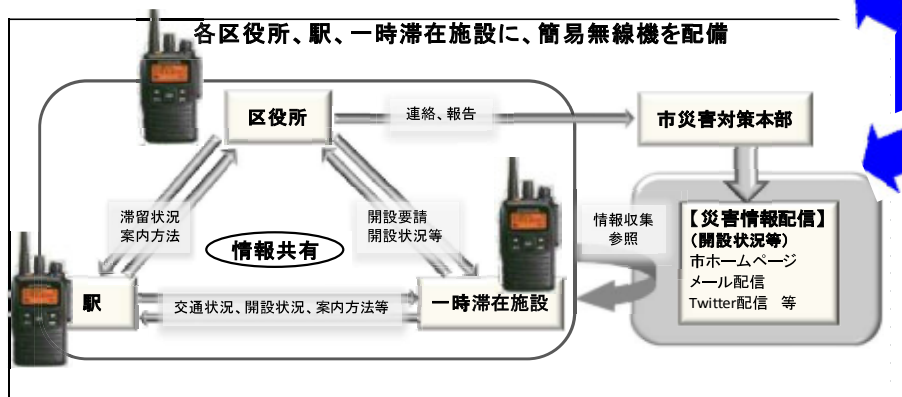
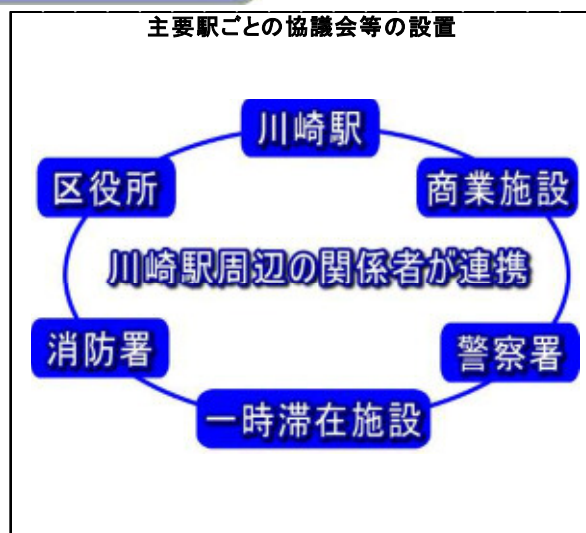
公助

目標の達成に向けて、地域における対応を支援

P19

連携体制

駅周辺の関係者が連携した対応
(案内・誘導、情報提供、要援護者等への支援など)

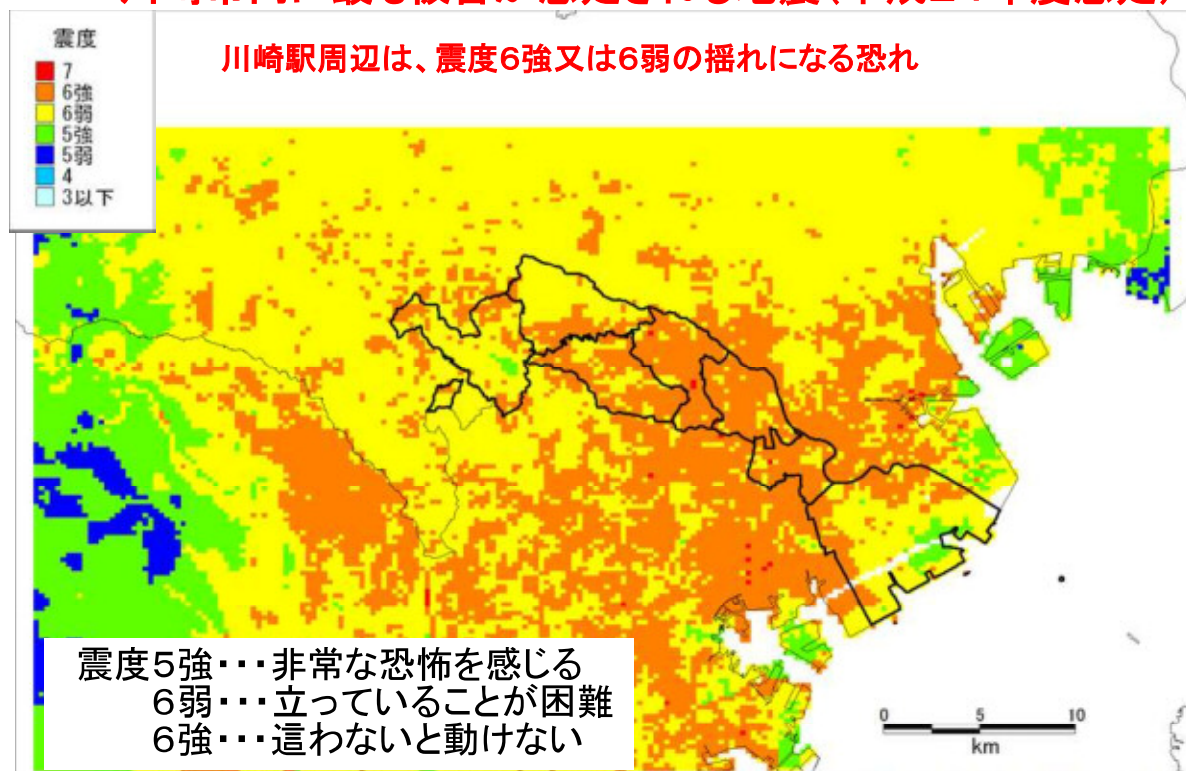


全国に先駆け、川崎市独自に購入した一時滞在施設への誘導支援ツール

地震被害の想定

川崎市直下の地震(M7.3)

・・・川崎市内に最も被害が想定される地震(平成24年度想定)



種別	被害項目	川崎区	幸区
世帯数・人口	(平成25年3月1日現在)	216,657 人 106,073 世帯	156,592 人 72,129 世帯
建物被害	全壊棟数	6,543 棟	4,649 棟
"	半壊棟数	10,964 棟	6,314 棟
地震火災	出火件数	36 件	33 件
"	焼失棟数	3,987 棟	2,394 棟
人的被害	死者数	235 人	156 人
"	重軽傷者数	3,980 人	2,384 人
ライフライン	上水道断水世帯数	64,996 世帯	50,226 世帯
"	下水道機能支障世帯数	86,845 世帯	64,720 世帯
"	停電世帯数	66,682 世帯	43,244 世帯
"	一般回線電話の不通件数	市内加入電話の約 20%	
生活支障等	避難者数	67,689 人	56,363 人
"	駅前滞留者数(私用等)	19,128 人(川崎駅)	
"	駅前滞留者数(従業員、学生)	43,649 人(川崎駅)	

東日本大震災を受けての課題

1 平成23年3月11日 首都圏で515万人の帰宅困難者が発生

- ・主要駅を中心に帰宅困難者が滞留
- ・徒歩帰宅者が大量に発生
- ・激しい道路渋滞
- ・休憩場所として住民用避難所などの施設を開放
- ・情報錯綜 など様々な課題が発生

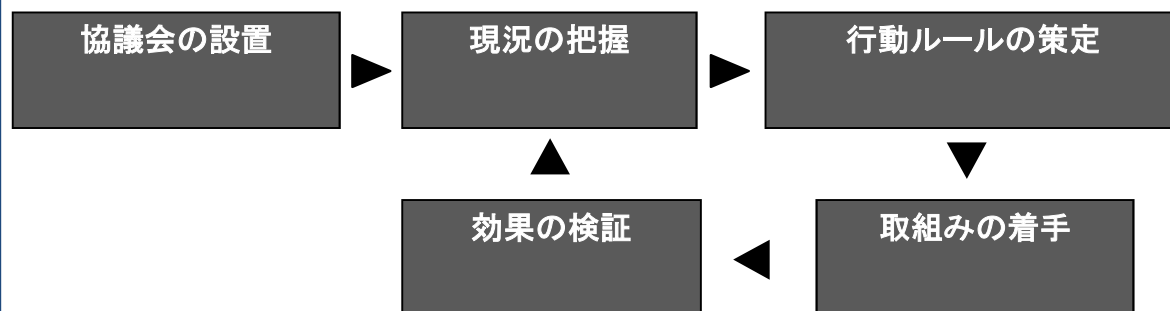
2 川崎市内でも、約5,500人の帰宅困難者を施設で受け入れ

- ・川崎駅:3,000人超が市要請施設に避難
- ・上記の施設以外でも、帰宅困難者を受け入れ
- ・住民用の毛布、上下水道局の飲料水を配布
- ・情報の錯そう
- ・小売店における品薄状態 など様々な課題が発生



川崎駅周辺における対応

東日本大震災の教訓から、課題を抽出し、
川崎駅周辺の地域特性を踏まえた対応策を検討



協議会で課題を共有し、対応方法について検討を重ねながら
川崎駅周辺の災害時における行動ルールを策定し、訓練を通じて検証していく

自助 会社や学校、集客施設で備えること

大量の帰宅困難者が一斉に帰宅すると、道路や歩道が混雑し、救助活動に支障をきたします。

また、災害発生後すぐに帰宅すると二次被害に逢う可能性があり、大変危険です。



災害発生時は「むやみに移動を開始せず、安全な場所で身の安全を確保する」ことをみんなで徹底しましょう。(一斉帰宅の抑制)

1 対応マニュアルの作成と周知

■ 消防計画などの施設の防災計画

災害時の初期対応や被害状況の確認、救出救護、エレベータ停止、地震による出火、設備損壊、インフラ不全、避難誘導への対応手順



従業員や利用客の保護

- ・施設内または周辺の広場等の一時的避難場所
- ・誘導棒の準備、高齢者等の要援護者への配慮
- ・建物の安全点検チェックリスト

地域との連携体制

■ 事業継続計画(BCP)の作成、運用

中小企業庁のホームページ等を参考に、緊急事態に備えましょう。

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/antei/>

■ 対応マニュアルは、従業員や関係店舗等に確実に伝えましょう。

2 訓練の実施、応急手当等

■ 定期の防災訓練で施設内待機手順も確認

■ 各種の訓練に積極的に参加

(退避スペースまでの避難誘導訓練、情報伝達訓練、駅における帰宅困難者対策訓練、一時滞在施設開設訓練、災害用伝言サービス体験訓練など)

■ 消防署等が開催する応急手当講習会の受講

ホームページ「市民救命士の養成について」

<http://www.city.kawasaki.jp/840/page/0000020372.html>



3 企業内備蓄、従業員及び利用者の保護

従業員や利用者、児童・生徒等を直ちに帰宅させることなく、施設内に留めることができるよう、施設管理者や店舗の事業者は退避スペースの確保と3日分以上の飲料水等の備蓄をお願いいたします。

■退避スペース 3.3㎡につき2人程度

■備蓄品(3日分以上 ※エレベータが停止した場合に備え、高層ビルでは保管場所を分散化)
飲料水、食料品、毛布、ラジオ、電池、救急セット、災害用トイレ等

4 安否登録、安否確認方法

P8

従業員等には事前にNTTや各種携帯電話の災害用伝言サービスを周知し、大地震発生時における安否確認方法を家族で確認しあうよう徹底しましょう。

5 建物の安全確認

施設管理者は建物の安全点検チェックリストを作成しておき、定期的に点検を行っておくなど、速やかに安全点検が行えるようにしておきましょう。

施設の安全点検のためのチェックリスト(例)

点検項目		点検時
施設全体		
1	建物(傾斜・沈下)	傾いている。沈下している。 傾いているように感じる。
2	建物(倒壊危険性)	大きなX字状のひび割れが多数あり鉄筋がかなり露出している。壁の向斜めやX字形のひび割れがあるが、ある。
3	隣接建築物・周辺地盤	隣接建築物や鉄塔等が施設の方向に周辺地盤が大きく陥没または隆起し隣接建築物の損傷や周辺地盤の地割と考えられる。
施設内部(居室・通路等)		
1	床	傾いている、または陥没している。 フロア等、床材に損傷が見られる。
2	天井・天井材	間仕切り壁に損傷が見られる。 天井材が落下している。

施設の安全点検チェックリストの一部

6 その他安全対策の徹底

- 家具類の転倒・落下・移動防止、ガラス飛散防止対策
- 電子掲示板や放送設備等の定期的な確認
- 周辺の集客施設との情報交換
- ホームページ等による災害時の対応方法の周知

「川崎市防災協力事業所」として登録しませんか？

地域の一員としてできる範囲内で防災活動に協力し、被害の軽減や地域生活の早期復旧に貢献していただく登録制度です。登録事業者の名称及び協力内容はホームページで公表します。

詳しくは、「[川崎市防災協力事業所登録制度](#)」のホームページを御覧ください。

自助 個人で備えること

外出先で地震にあった場合の対応を、あらかじめ考えておきましょう。

外出しているときは？	
○ 街頭では 落下物から頭部を守り、ブロック塀や自動販売機、軒下、ガラス戸から離れましょう。 	○ 地下街では 停電になっても非常灯がつけます。あわてて地上への出口に殺到しないようにしましょう。
○ 人が集まる場所では 怖いのは、パニックで正しい判断ができなくなることです。映画館では座席の間、デパートでは太い柱に身を寄せ、係員の指示に冷静に従ってください。 	○ エレベーターの中では エレベーターの中で揺れを感じたら、全ての行き先階ボタンを押し、最初に停止した階で降りましょう。閉じ込められたら、非常用連絡ボタンを押し、外部の救助を待ってください。（揺れを感じると最寄階に自動停止するエレベーターもあります。） 
○ 海岸・川べりでは 強い揺れや、弱くても長い間ゆっくりとした揺れを感じたら、すぐに海や川から離れ、高台やビルの高層階へ避難しましょう。また、津波警報等が解除されるまで、元の場所へ引き返したりしないようにしましょう。 	○ 自動車などで移動中には 車の運転中は、左に寄せて停車し、キーは付けたままドアロックせず、歩いて避難しましょう。また、バスや電車などの公共交通機関で移動中、駅構内にいるときは係員の指示に従いましょう。 



「備える。かわさき」は市役所・区役所で配布しています。

1 徒歩帰宅への備え

職場や学校に置いておくものや、バッグの中に入れておくものを事前に準備しておきましょう。

- ☐動きやすい靴、☐リュックサック、
- ☐地図、懐中電灯、☐携帯ラジオ、
- ☐防寒着、雨具等、☐ビニール袋、
- ☐携帯食料、飲料水、
- ☐ウェットティッシュ、☐携帯トイレ、
- ☐携帯電話の充電電池など



「備える。かわさき」ポータブル版もあります。市役所・区役所で配布しています。

2 災害時帰宅支援ステーションを確認

コンビニエンスストアやファミリーレストラン、ガソリンスタンド等の協力店舗では、災害時帰宅支援ステーションとして、水やトイレ、情報の提供について可能な限り支援していただくこととなっています。

徒歩帰宅ルート付近の協力店舗の位置を確認しておきましょう。

3 家族で災害時の連絡方法等の確認

大地震等が発生すると、電話がかかりにくくなります。
自分の無事を伝え、家族の安否を確認するには、災害用
伝言サービスの利用が有効です。

日頃から家族で災害用伝言サービスの使い方を確認しておきましょう。



災害用伝言ダイヤル171

一般電話で 171 をダイヤル

登録する場合：① 伝言を聞く場合：②



被災地の固定電話番号を市外局番から入力

録音時間は1件あたり30秒以内。1回線あたり10
件まで登録可能。保存時間は最大48時間。

災害用伝言板web171

<https://www.web171.jp>

携帯・PHS版災害用伝言板との連携により、
登録された安否情報を一括で検索可能。

伝言を登録した際に、あらかじめ設定し
ておいた通知先へメールや音声（電話）に
よる伝言登録内容を通知します。

災害用伝言板（携帯電話）

NTTドコモ、au、
ソフトバンクモバイル、
ウィルコム、イーモバイル

「無事です」「被害があります」「自宅に
います」「避難所にいます」等の状況や、全
角100文字までコメントを入力可能。

被災地で携帯電話番号1つあたり10件
まで登録できます。

確認方法は、携帯電話やパソコンで相手
の携帯電話番号を入力して伝言を検索。

スマートフォンにおいては、専用アプリ
のダウンロードが必要な場合があります。

災害用音声お届けサービス

NTTドコモ、au、
ソフトバンクモバイル

送信者が携帯電話でファイル化した音
声をパケット通信により送信。

受信者は受信した音声ファイルを携帯
電話で再生できます。

各社の災害対策用アプリをインストー
ルしたスマートフォン等から同じ通信事
業者の利用者あてに送信できます。

詳細は各社で異なるため、各社のホーム
ページで確認してください。

災害用伝言サービスの体験利用日に、家族で確認しよう！

災害用伝言サービスは、災害発生時に提供されるものですが、以下の体験利用日にも運用されており、体験
することができます。

- 毎月1日、15日 ●1月1日～3日 ●防災とボランティア週間 1月15日～21日
- 防災週間 8月30日～9月5日

自助 施設ごとに、身の安全確保と落ち着いた行動を徹底



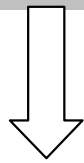
緊急地震速報とは、

地震発生後、強い揺れが到達する前の注意喚起です。

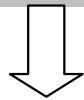
周囲に身の安全を確保するよう、呼びかけましょう。

身の安全確保

退避スペース（施設内の安全な場所、駅前広場）



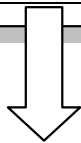
従業員・利用客の安否確認



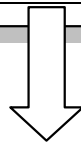
施設の安全点検（施設安全点検チェックリスト） （建物の損傷、周辺の災害状況を確認）

安全の場合

危険な場合

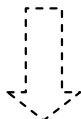


施設内待機



広域避難場所等へ誘導

満杯の場合



一時滞在施設へ案内

テレビ、ラジオで災害状況も把握しましょう。

エレベータに閉じ込められてないかも確認しましょう。

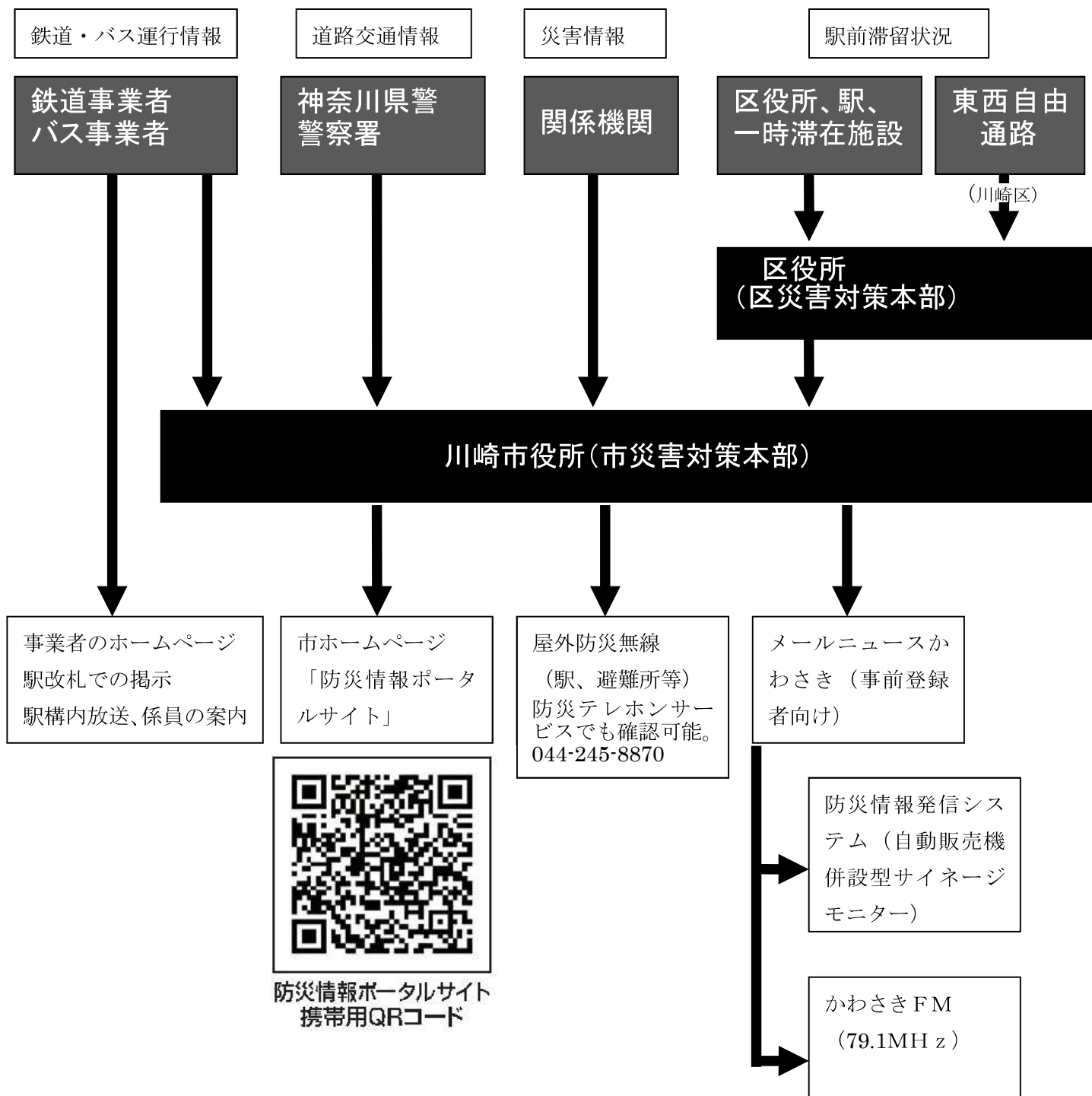
施設の安全点検をしている間、施設利用者に対して現状の説明を行うなど、落ち着いた行動を促します。

施設関係者が利用者を待機場所まで案内・誘導し、混乱の抑制と滞留者の安全確保に努めてください。

軽いケガや病気の手当て、要援護者への配慮を行いながら、利用者の保護を図ります。

施設	とるべき対応（役割・活動）
駅 駅舎内では災害時は駅が指揮をとり、関係機関と調整しながら混乱の抑制を図ります。 東西自由通路の滞留状況確認や入場制限は川崎区で行います。	乗客、利用客の安全確保 改札前での利用客への運行状況の案内（区に状況報告） 乗客、利用客を一時的な避難場所（駅前広場等）に誘導 施設点検（可能な限り速やかに実施） 施設が安全な場合：駅構内で乗客や駅前滞留者を保護 満杯の場合、一時滞在施設に誘導 施設が危険な場合：広域避難場所や近くの避難所へ誘導 滞留者への備蓄物の配布 トイレや休憩スペースを開放 交通情報、一時滞在施設の開設状況、災害情報の提供
集客施設 各施設内では施設管理者が指揮をとり、可能な限り警備服やビブス等を着用し、分かりやすい服装で誘導します。	利用客・従業員の安全確保 施設内か一時的な避難場所（駅前広場等）に誘導 施設点検（可能な限り速やかに実施） 施設が安全な場合：施設内で利用客・従業員を保護 満杯の場合、一時滞在施設に誘導 施設が危険な場合：広域避難場所や近くの避難所へ誘導 可能な限り、トイレや休憩スペースを開放 交通情報、一時滞在施設の開設状況、災害情報の提供
商店街	買い物客等の安全確保 メールやツイッター、ラジオ等による災害情報を買い物客等に提供 徒歩で帰れない買い物客等を駅前広場に案内、可能な限り、トイレの提供 ガス等を使用しないなど、安全な状態での営業（被災の程度による）
区本部	駅、一時滞在施設との連絡調整（情報受発信拠点）、備蓄品の搬入 災害情報、滞留状況の把握、市災害対策本部への連絡
市本部	災害情報、交通情報の把握、各種媒体による情報の発信 関係機関との調整
警察	混乱抑制、滞留者誘導・整理 道路交通整理、道路交通情報の提供
バス・タクシー	運行状況等の災害情報の提供、要援護者等の搬送
学校等	園児、児童、生徒を学校内で保護者引き渡しまで保護
企業	従業員を施設内で保護 施設が危険な場合は、広域避難場所や近くの避難所へ誘導

情報発信の流れ



かわさきFM (79.1MHz) では、市災害対策本部からの市の災害情報や交通情報を繰り返し放送。

- ・ 停電等で電源が無い場合、ラジオでの情報収集は有効です。
- ・ ラジオの電波が届かない場合でも、「サイマルラジオ」でインターネット環境により視聴できます。

一時滞在施設の開設・運営状況

公立保育園、公立小学校

震度5強以上の場合、保護者が来るまで園や学校で子どもを保護します。

あらかじめ園や学校と保護者との間で、子どもの安否確認手段について確認しておきましょう。

(市立小・中学校はメール、公営保育園はホームページによる)

一時滞在施設

区役所
(区災害対策本部)

川崎市役所(市災害対策本部)

t v k (テレビ神奈川:3ch) のデータ放送(dボタン)

緊急速報メール
(au,NTTdocomo, SoftBank)

Twitter
(kawasaki_bousai)

河川情報表示板(JR川崎駅自由通路)

一時滞在施設

防災情報発信システム

川崎市、合資会社クリエイティブワークス、ダイードリンク株式会社に「電子広告媒体を活用した防災気象情報の提供に関する協定」を締結し、川崎市が送信する災害時における市内の災害情報のメールを受信し、デジタルサイネージ上に表示します。

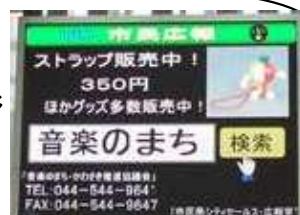
また、緊急地震速報や津波警報を、音と光でお知らせします。



河川情報表示板

京浜河川事務所が JR 川崎駅東西自由通路の西口側に設置している大型ビジョン。非常用電源もあります。

発災時は災害情報を表示します。



アゼリアビジョン



川崎アゼリア(株)が JR 川崎駅東西自由通路の東口側に設置している大型ビジョンでは、災害時に NHK の緊急放送が自動的に放映されます。

同時に川崎市の災害情報を表示する方法について、現在検討を進めています。

1 川崎の地域力

活用可能な地域資源

○コミュニティ放送 かわさき FM(79.1MHz)

インターネットからの視聴も可能

○公衆無線 LAN のスポット

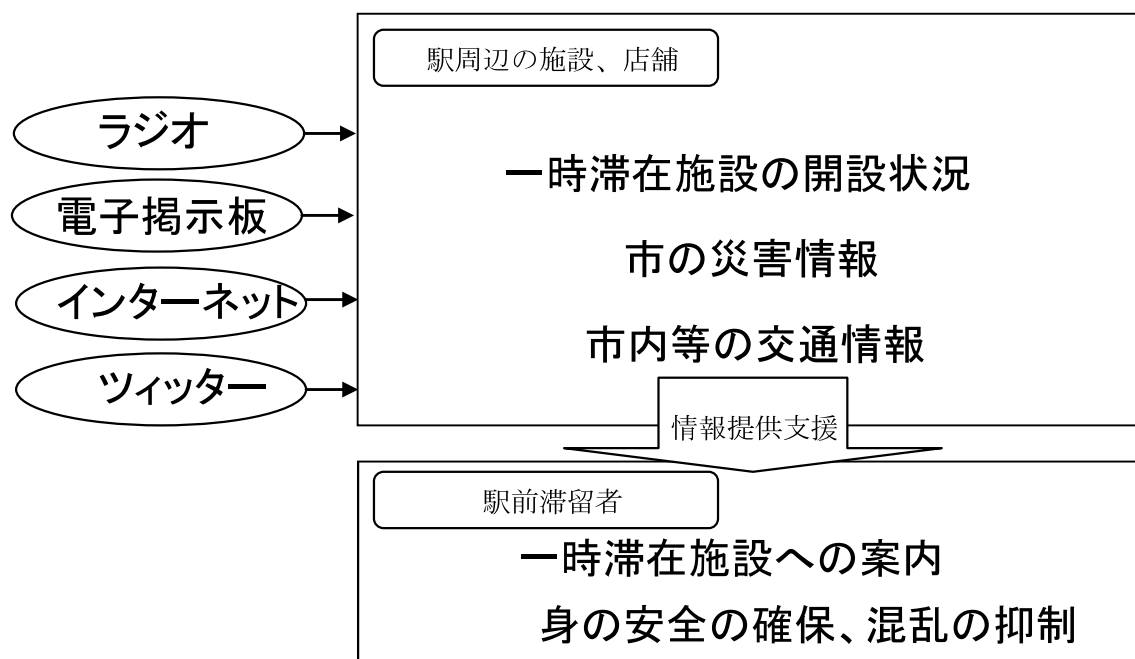
多くの店舗でWi-Fi スポットを利用可能

【参考】通信事業者で組織する無線LANビジネス推進連絡会では、災害時に利用制限を開放（災害用統一SSID使用）する実証実験を行っている。

○日頃の地域ぐるみのイベントによるフェイス・トゥ・フェイスな関係から、
活気あるマンパワーによる地域連携



■これらの地域資源を有効に活用し、正確な情報を地域で共有



■その他、トイレの提供・案内、安全な避難経路への誘導、

要援護者への支援、負傷者等対応、屋外滞留者の駅前広場への誘導

など、地域をあげて対応

2 情報受発信拠点

川崎フロンティアビル2階ホワイエを情報受発信拠点として活用し、区役所を中心に、川崎駅東口・西口の滞留状況、一時滞在施設の開設状況等の情報を集約。

誘導方法を決定し、駅、一時滞在施設、区役所の各施設への一斉通信により情報を共有し、混乱の解消に努めます。（当該施設が使用できない、あるいは区職員が拠点に向かうことができない場合は川崎区本部が拠点となる。）

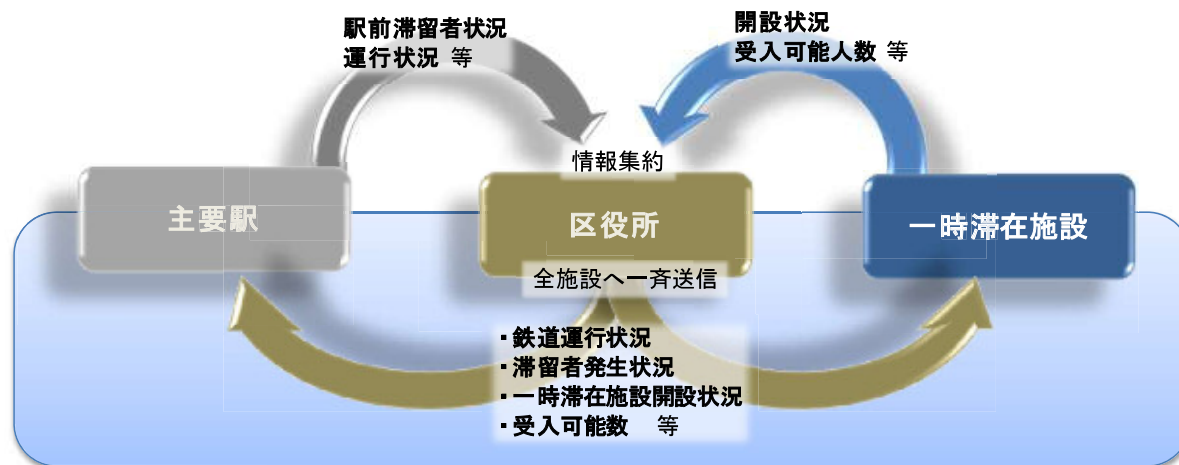


3 区・駅・一時滞在施設の情報共有

駅、区役所、一時滞在施設間で、簡易無線機による情報交換を行い、一時滞在施設の開設、運営状況を常時確認し、帰宅困難者の案内、誘導を的確に実施してまいります。

なお、電波の都合上、駅と一時滞在施設、あるいは一時滞在施設間で通話ができない場合がほとんどです。

そのため、全施設と通信が可能な情報受発信拠点及び川崎区役所から各施設からの情報を復唱することで、確実な情報共有を図ります。



4 一時滞在施設以外の集客施設、商店街、企業・学校等

区役所で集約した情報は、市の災害対策本部に連絡し、ホームページやツイッター、メール、FM ラジオなどの各種のメディアで広報します。

各施設においては使用可能なメディアから情報を取得し、誘導、支援、利用者保護に努めてください。

川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会



川崎市では、川崎駅における大地震発生時の帰宅困難者対策を協議、推進するため、交通事業者、一時滞在施設、商業施設、警察署、消防署等の関係機関で構成する、川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会を平成23年9月3日に設置しました。

平成24年度は内閣府の都市再生安全確保計画策定事業を活用して、川崎駅周辺の地域特性や滞留予測の算定等の基礎調査や、協議会委員が参加のワークショップの開催を通じて、災害時における行動ルール案を策定しました。

平成25年度からは国土交通省の都市安全確保促進事業を活用し、都市再生安全確保計画の作成主体となる川崎駅周辺都市再生緊急整備地域協議会にオブザーバーとして参加し、帰宅困難者対策訓練を通じて、災害時における行動ルールを検証しました。

その検証結果を踏まえて、ソフト・ハードの両面対策の実行計画となる都市再生安全確保計画が策定されました。災害時における行動ルールは、その計画のソフト面対策として位置付け、同時に策定されました。

- | | |
|-------------|--|
| 平成24年9月3日 | 第1回 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会
・協議会の設置について等の協議 |
| 平成24年11月17日 | 第2回 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会
・行動ルールの考え方等の協議 |
| 平成25年1月21日 | 第3回 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会
・ワークショップによる検証 |
| 平成25年3月25日 | 第4回 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会
・災害時における行動ルール(案)等の協議 |
| 平成25年7月24日 | 第1回 川崎駅周辺地域都市再生緊急整備協議会への参加
・都市再生安全確保計画作成部会の設置 |
| 平成25年9月3日 | 第1回 都市再生安全確保計画作成部会への参加
・川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練の実施について |
| 平成25年11月20日 | 第2回 都市再生安全確保計画作成部会への参加
・川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練の実施 |
| 平成26年1月21日 | 第3回 都市再生安全確保計画作成部会への参加
・川崎駅周辺地域都市再生安全確保計画(案)の協議 |
| 平成26年3月下旬 | 第4回 都市再生安全確保計画作成部会への参加
・川崎駅周辺都市再生安全確保計画の策定
(災害時における行動ルールの策定を含む。) |

※詳しくはホームページ「[川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会](#)」ページを御覧ください。

川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会委員名簿

市災害対策本部	総務局危機管理室
区災害対策本部	川崎区役所危機管理担当
	幸区役所危機管理担当
交通事業者	JR東日本横浜支社
	JR川崎駅
	京浜急行電鉄
	京浜川崎駅
	川崎市交通局
	川崎鶴見臨港バス
	東急バス
	神奈川県タクシー協会
一時滞在施設	川崎市産業振興会館
	川崎市教育文化会館
	川崎アゼリア株式会社
	川崎日航ホテル
	川崎市医師会館
	川崎商工会議所
	幸市民館・図書館
	ホテルメッツ川崎
	ミュージア川崎管理事務所
警察署	川崎警察署
	川崎臨港警察署
	幸警察署
消防署	川崎消防署
	臨港消防署
	幸消防署
商業施設等	川崎中央商店街連合会
	川崎駅前商店街連合会
	幸商店街連合会
	川崎西口商店会
	アトレ川崎店
	チッタ エンタテイメント
	三井不動産商業マネジメント
関係団体・企業等	川崎区自主防災組織連絡協議会
	川崎区区民会議
	幸区自主防災連絡協議会
	東日本電信電話
	川崎信用金庫
	NREG東芝不動産
	三井不動産
	キャノン川崎事業所
	第一ビルディング
	住友不動産リパーク川崎ビル
	川崎地域連合
	かわさき市民放送
市役所関係局	市民・こども局こども本部
	環境局
	健康福祉局
	まちづくり局
	上下水道局
	教育委員会事務局

共助 一時滞在施設

1 一時滞在施設とは

一時滞在施設とは、大地震の発生により鉄道等の公共交通機関が運行停止となり、帰宅が困難となって、行きどころのない人を一時的に受け入れる施設です。

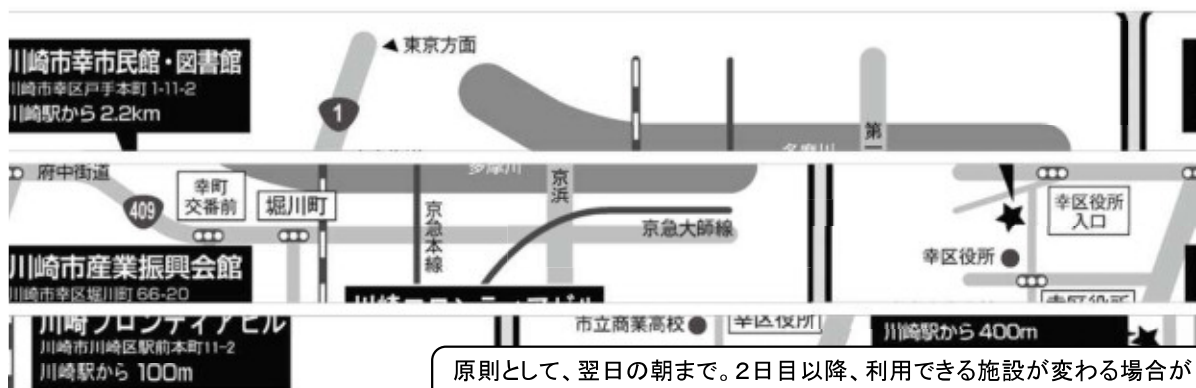
2 いつ開設されるのか

駅周辺に多数の人が集まり、混乱や事故の発生が予測される場合、区役所が安全の確認がとれた施設に開設の要請をします。区役所からの要請を受けて、施設の安全を確認し、受入の準備が整った施設から開設いたします。

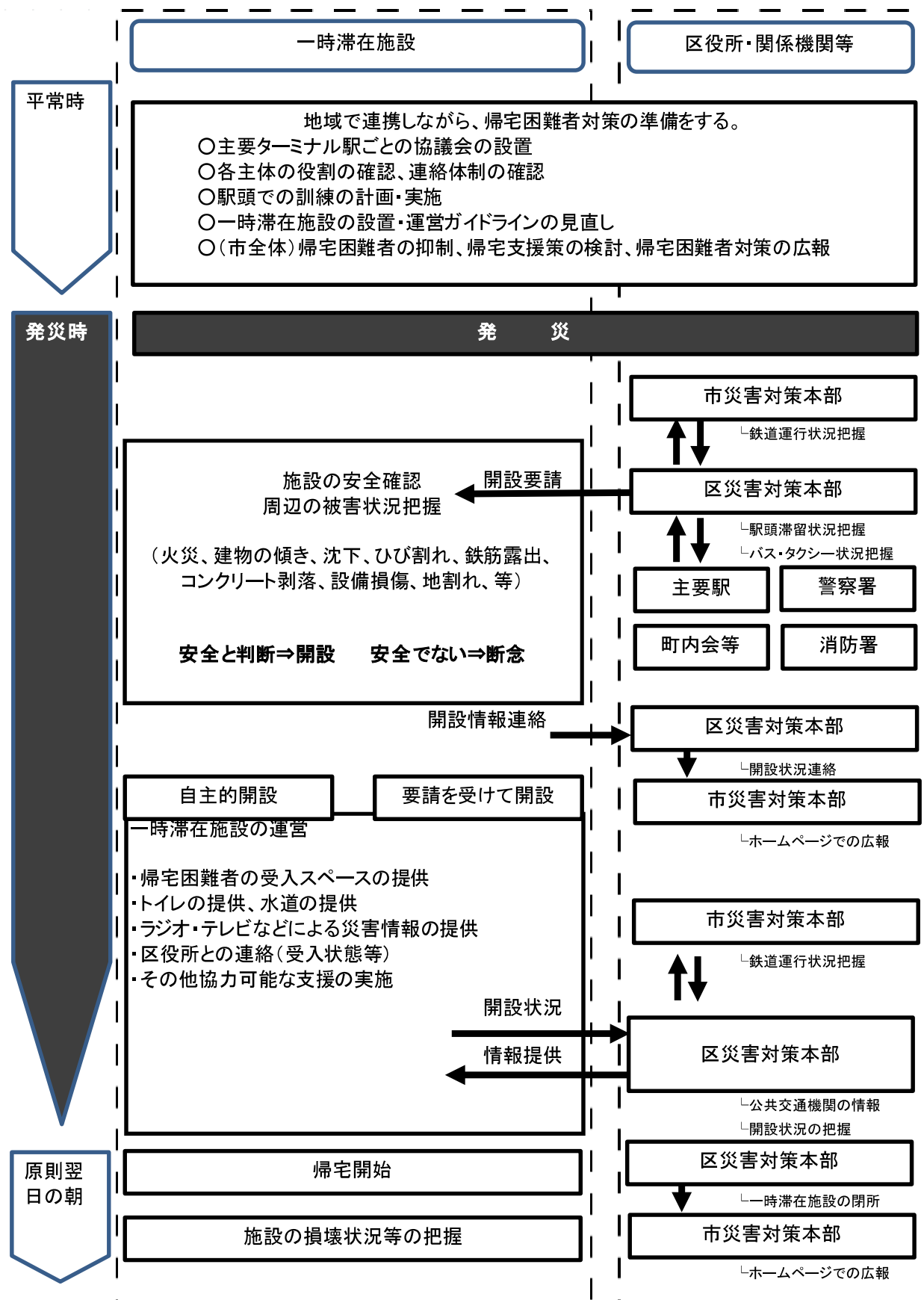
3 開設状況の確認方法

川崎市ホームページ、Twitter (kawasaki_bousai)、かわさき FM (79.1MHz)、tvk(テレビ神奈川データ放送)での広報のほか、駅や警察の案内で確認してください。

一時滞在施設マップ



一時滞在施設の開設までのフロー



公助 目標の達成に向けて、地域における対応を支援

1 一時滞在施設用備蓄について

帰宅困難者用として、飲料水(500mlペットボトル)及び防寒シートを備蓄しています。

これらの備蓄は、一時滞在施設を利用する人に一人あたり、それぞれ1本及び1枚を配布することとしております。

これらの備蓄は、区役所ごとに倉庫に保管しておりますが、迅速な利用者への配布を目指すため、一時滞在施設への設置につきまして、御協力をお願いいたします。

備蓄の設置場所が無い施設へは、区役所からの搬入となります。



2 一時滞在施設の確保について

一時滞在施設の確保にあたり、各施設に対して協力を求めています。

(1) 帰宅困難者対策用無線機の整備

区役所、駅、一時滞在施設との通信手段の確保として、簡易無線機を整備しています。

(2) 非常用電源の燃料の確保に向けた検討

一時滞在施設の非常用電源設備の燃料の確保について、検討を進めています。

(3) その他

一時滞在施設利用者向けの特設公衆電話の整備に向けた調整や、受入に伴う見舞金が出る保険制度の検討を進めています。

3 一時滞在施設マップの作成等

災害時案内用として一時滞在施設マップを作成し、JR 川崎駅及び京急川崎駅に配備しています。

また、啓発用として帰宅困難者対策リーフレットも作成しています。



4 違法駐車、歩道の不法占拠、屋外広告物等について

違法駐車や歩道の不法占拠、屋外広告物の転倒・落下防止策について、関係者にさらなる徹底を求め、ボトルネックの解消に努めます。

5 都市安全確保促進事業について

内閣府及び国土交通省の都市安全確保促進事業を活用し、「都市再生安全確保計画」を作成し、ソフト・ハードの両面による帰宅困難者対策の着実な推進を図ってまいります。



内閣官房地域活性化統合事務局の都市再生本部のホームページ資料より

帰宅困難者への支援内容

1 地震発生直後

(1) 身の安全の確保

施設ごとの消防計画や防災マニュアル等に沿って、施設内の利用客を館内放送や従業員等の誘導により、安全な場所に避難させてください。

施設内に安全な場所がない場合は、駅前広場に一時的に避難することとします。

建物安全点検チェックリストを使用して、施設及び周辺地域の安全を確認した後、利用者を施設内で保護します。安全が確認できない場合は従業員等とともに広域避難場所に避難します。

屋外にいる帰宅困難者には、周辺の施設や商店街などが声をかけ、駅前広場などの安全な場所に避難させてください。

高齢者、障害者、妊婦、子ども、外国人など、避難に支援が必要な場合は、付近に協力を呼びかけながら避難支援を行います。

(2) 従業員・利用客の安否確認

揺れが治まり、建物の安全点検を行っている間、施設内に従業員や利用客が逃げ遅れているなどしていないか確認します。

(3) ケガ人への対応

災害発生直後は、多数のケガ人が発生したり、電話がつながりにくくなったりすることで、救急車を呼ぶことが困難になります。必要ならCPRを行い、AEDを使用するなど応急手当を施すことで、救急車が到着するまで命をつなぐ対応が必要です。

(4) 情報の提供

保護している利用者や、近くの避難者等に対し、テレビやラジオのほか、ホームページやメール、ツイッターなどの川崎市の災害情報を提供します。

2 多数の帰宅困難者の滞留が発生

(1) 一時滞在施設を開設する場合

首都圏で震度5弱以上を観測し、各鉄道が運行を停止し、復旧の目途が立たず、駅前に多くの帰宅困難者が滞留、又は滞留の恐れがある場合に、区役所が駅と一時滞在施設に調整して、一時滞在施設に開設要請します。一時滞在施設で建物の安全点検が終了し、受入準備が整ったら開設となります。

(2) 一時滞在施設受入対象者

帰宅困難者のうち拠りどころのない人が施設の受入対象者となります。

駅利用者は駅構内で、大型集客施設などの利用者は施設内、従業員はオフィスに留まることとしていますので、これらの方は対象外となります。(駅や大型集客施設でも利用者保護の準備を進めています。)

3 帰宅困難者の避難場所等への誘導方法

(1) 駅

区役所に対して鉄道の運行状況や駅前の滞留者の状況を報告し、一時滞在施設の開設状況を確認するなど、区役所と連携して利用者及び駅前滞留者の安全確保に向けた対応方法を決定します。

要支援者を優先するなど、利用者及び駅前滞留者を駅構内で保護します。

その後、一時滞在施設マップ、構内放送、張り紙等を使用し、区役所と連携しながら一時滞在施設の場所を案内します。

(2) 大型集客施設、商店街(一時滞在施設以外)

川崎市からの災害情報(メールニュースかわさき、twitter(kawasaki bousai))を確認しながら、一時滞在施設の場所を案内します。可能な限り、帰宅困難者に対してトイレや休憩スペースの開放に御協力ください。

(3) 一時滞在施設

区役所と連携して帰宅困難者を受け入れます。受入準備が完了していない場合や、定員を超えた場合、余震等で施設が使用できなくなった場合等は、区役所からの指示を受けて、他の一時滞在施設等を案内します。

(4) バス、タクシー、警察

駅前広場を中心に滞留している帰宅困難者に対し、川崎市からの災害情報などを提供し、一時滞在施設等への誘導を支援します。

4 トイレ

駅周辺のトイレとしては、駅構内、駅前広場や公園、災害時帰宅困難者支援ステーションの協力店舗、一時滞在施設のトイレのほか、富士見公園のマンホールトイレがあります。(周辺の商業施設で可能な限りトイレを開放してください。)

5 一時滞在施設への支援

(1) 館内誘導

帰宅困難者を受入スペースへ案内します。利用者カードを配布し、利用できるトイレや水道の場所を案内します。

(2) 情報の提供

館内放送やテレビ、ラジオ等の設置により、災害情報の提供を行います。

(3) 備蓄物配布

飲料水、防寒シートを準備し、利用者の協力のもと、配布します。

(4) 要支援者への対応

高齢者、障害者、妊婦、子ども等に対して適切な対応をお願いいたします。

災害時帰宅支援ステーション

九都県市で災害時に協力の支援について協定を締結した、災害時帰宅支援ステーションでは、①水道水の提供 ②トイレの使用 ③地図等による道路情報、ラジオ等で知り得た通行可能な道路に関する情報の提供など、可能な範囲で協力していただけることになっています。



川崎駅周辺 地区別帰宅支援ステーション店舗一覧

(平成25年10月8日現在 87施設)

地区		店舗名称		所在地	
川崎区	J R 川崎駅東口周辺	セブン-イレブン	川崎駅東口店	駅前本町1-3	
		吉野家	川崎駅前店	駅前本町2-1	
		わたみんな家	JR 川崎東口店	駅前本町2-1	金井ビル地下1階
		カラオケ館	川崎店	駅前本町4-10	川崎たまきやビル
		ミスタードーナツ	川崎駅前	駅前本町5	
		ビッグエコー	川崎東口駅前店	駅前本町6-3	川崎三和東洋ビル
		モスバーガー	川崎東口店	駅前本町7-3	
		和民	ロペステーション川崎店	駅前本町7-4	ロペステーション7階
		セブン-イレブン	川崎駅前本町店	駅前本町8-17	
		ファミリーマート	京急川崎駅前店	駅前本町10-5	
		ローソン	川崎駅前本町店	駅前本町11-1	
		ナチュラルローソン	川崎フロンティアビル店	駅前本町11-2	
		ビッグエコー	京急川崎駅前店	駅前本町15-13	養老乃瀧川崎ビル
		ミニストップ	京急川崎駅西口店	駅前本町20-11	
		ローソン	川崎アゼリア店	駅前本町26-2	川崎アゼリア内
		モスバーガー	川崎アゼリア店	駅前本町26-2	川崎アゼリア内
		タリーズコーヒー	アトレ川崎店	駅前本町26-11	アトレ川崎1階
	京急川崎駅周辺	デイリーヤマザキ	川崎本町店	本町1-7-4	
		ローソンスストア100	川崎本町2丁目店	本町2-8-9	
		セブン-イレブン	川崎本町2丁目店	本町2-12-7	
		吉野家	川崎店	砂子1-1-8	
		わたみんな家	京急川崎店	砂子1-1-8	第32東京ビル2階
		カラオケルーム歌広場	京急川崎店	砂子1-3	ニューハットヤビル5階
		セブン-イレブン	京急S T川崎中央店	砂子1-3-1	
		セブン-イレブン	京急ST川崎中央改札前店	砂子1-3-1	
		ポプラ	川崎砂子店	砂子1-4-2	小島ビル1階
		セブン-イレブン	川崎砂子1丁目店	砂子1-7-1	
		ファミリーマート	川崎砂子店	砂子1-8-6	
		ローソンスストア100	川崎砂子1丁目店	砂子1-10-2	
	川崎区役所周辺	ローソン	川崎銀柳街店	砂子2-2-1	
		カラオケの鉄人	川崎店	砂子2-2-5	小林ビル1~3階
		ピアスタジオ	川崎銀柳店	砂子2-3-5	4階
		カラオケの鉄人	川崎銀柳街店	砂子2-3-8	コジマビル1~3階
		セブン-イレブン	川崎砂子2丁目店	砂子2-4-17	
		坐・和民	川崎砂子店	砂子2-4-17	Cassia Kawasaki 2階
		カラオケルーム歌広場	川崎2号店	砂子2-4-18	藤ビル川崎4階
		ビッグエコー	川崎仲見世通り	砂子2-6-8	クレバ川崎4階
		ファミリーマート	川崎ロイネット店	砂子2-6-15	
		カラオケバンバン	川崎砂子店	砂子2-7-5	
		セブン-イレブン	川崎駅前店	砂子2-8-1	
		ローソンスストア100	川崎砂子二丁目店	砂子2-9-7	



幸区		カレーハウスC o C o 壱番屋	川崎たちばなモール参番街店	砂子2-11-22	信明ビル
		ローソン	川崎堀之内町店	堀之内町10-1	
		日産自動車販売店	川崎六郷橋店	堀之内町10-12	
		セブン-イレブン	川崎宮本町店	宮本町6	
		出光興産	川崎第一	宮本町8-16	
		ファミリーマート	川崎東田町店	東田町2-10	
		デイリーヤマザキ	川崎市役所前店	東田町5-3	
	ラ チッタデッラ 周辺	ファミリーマート	川崎チネチッタ通り店	小川町1-26	
		サンクス	川崎小川町店	小川町2-7	アイヴィタワー1階
		サークルK	川崎チネチッタ通店	小川町2-11	
		ローソン	川崎西小川町店	小川町8-7	
		ローソンスストア100	川崎小川町店	小川町14-15	トウシンビル3
		デイリーヤマザキ	川崎南町店	南町1-1	
		スリーエフ	川崎南町店	南町9-13	
		セブン-イレブン	川崎南町店	南町21-9	
	富士見公園周辺	ファミリーマート	川崎競馬場店	富士見1-5-2	
		ローソン	川崎富士見一丁目店	富士見1-6-10	
		吉野家	川崎富士見店	富士見1-7-15	
		ミニストップ	川崎宮前町店	宮前町2-4	
		セブン-イレブン	川崎法務局前店	宮前町8-20	
		ロイヤルホスト	川崎店	新川通2-5	
		ローソンスストア100	川崎新川通店	新川通4-16	
		ローソン	川崎市立川崎病院店	新川通12-1	
	ミューザ川崎周 辺	ローソン	川崎大宮町店	大宮町14-3	
		スリーエフ	川崎駅西口店	大宮町26-3	
		セブン-イレブン	ミューザ川崎店	大宮町1310	
	ラゾーナ川崎周 辺	ファミリーマート	川崎興和ビル店	堀川町66-2	
		ローソン	ラゾーナ川崎店	堀川町72-1	ラゾーナ川崎1階
		ローソン	ラゾーナ川崎プラザ店	堀川町72-1	ラゾーナ川崎5階
		セブン-イレブン	川崎ソリッドスクエア店	堀川町580	ソリッドスクエア地下1階
		ファミリーマート	ソリッドスクエア店	堀川町580	ソリッドスクエア東
		タリーズコーヒー	川崎ソリッドスクエア店	堀川町580	ソリッドスクエア東館2階
	第2京浜方面	セブン-イレブン	川崎幸町1丁目店	幸町1-790	
		コミュニティ・ストア	中幸町くわはら店	中幸町2-32	
		ファミリーマート	中幸町3丁目店	中幸町3-3-2	
		セブン-イレブン	川崎中幸町店	中幸町4-12-3	
		ファミリーマート	川崎駅西店	中幸町4-50-5	
		吉野家	川崎西口店	中幸町4-51	
		ミニストップ	南幸町店	南幸町1-31-1	
		スリーエフ	川崎南河原店	南幸町2-6	
		カレーハウスC o C o 壱番屋	JR 川崎駅西口通店	南幸町2-20	マインステージ1階
		ローソンスストア100	川崎南幸町2丁目店	南幸町2-20-4	
		スリーエフ	尻手駅前店	南幸町3-101-1	
		スリーエフ	川崎南部市場前店	南幸町3-143-8	
		セブン-イレブン	川崎神明町店	神明町1-5	
		昭和シェル	セルフR1川崎	神明町 1-63	

店舗によっては、水道水やトイレが店舗内にはないことがあります。
これらの店舗のほか、東口、西口駅前広場、東田公園、稲田公園、
富士見公園、さいわい緑道に公衆トイレがあります。



災害時要援護者への支援例

1 車いすを利用している人への支援

車いすには、手動車いす、電動車いす、手動兼用型切替式電動車いす、スクーター式電動車いすなどがあり、最近では軽量化が進んでいますが、電動車いすの重量は、約 40～60 キロ前後またはそれ以上のものもあり、人を乗せたまま持ち上げることは非常に困難です。

介助の前に、本人に介助方法を確認しましょう。また、可動部分や取り外し可能な部分など、車いすの構造をよく確認しておきましょう。

車いすを動かすときや進行方向を変更するときには、事前に「今から動きます」「前に進みます」などの声をかけ、安心してもらうことが大切です。

また、車いすを止めるときやバックするとき、曲がるときにも、声をかけましょう。

段差があるときは一時停止をしてから越えて下さい。スロープを下るときは、後ろ向きに下りるようにします。

2 杖を使っている人への支援

ペースに合わせてゆっくりと対応し、慌ててつまづくなどの思わぬ事故を防ぎます。できれば移動距離が短く、階段等の段差が少ないルートを勧めてあげます。

3 聴覚障害のある人への支援

会話をする時は、なるべく前を向き、はっきりとした声でゆっくり話すように心がけてください。話の内容を理解するのに話し手の口元の動きを手がかりにしていることがあるからです。固有名詞や数字などはできるだけスマートフォンや紙などで伝えましょう。FM補聴器（FM電波を利用して離れた場所まで音声が届ける補聴機システム）を使用している場合は、専用のFMマイクを使用します。

4 赤ちゃん連れの母親への支援

授乳ができる場所として、カーテンやパネルで仕切られたスペースや別室等、人目を気にせず授乳ができる場所を提供しましょう。ミルク用のお湯を提供いただくとさらに助かります。また、可能な限り、安全におむつ替えができる場所も確保しましょう。

5 日本語が分からない人への支援

川崎市の防災啓発広報誌「備える。かわさき」では、やさしいにほんご版、英語版、中国語（簡体字）版、ハングル語版、ポルトガル語版、スペイン語版、タガログ語版のパンフレットを作成しています。その資料を活用した支援もできます。国際交流センター（044-435-7000）や川崎区役所（044-201-3113）でも外国人の相談を受け付けることができます。（対応可能な曜日と時間が決められています。）

一時滞在施設では、提供スペースやトイレ、立入禁止場所がすぐわかるよう、誰もが分かりやすい画像を使用した平面図を作成しておく効果的です。

公衆電話

NTT東日本ホームページから引用

■ 屋外 終日利用可 ■ 屋外 終日利用不可 ■ 屋内 終日利用可 ■ 屋内 終日利用不可
 ※建物や施設、設置場所等の都合により、利用時間が制限される公衆電話を「終日利用不可」、利用時間が制限されない公衆電話を「終日利用可」と表記しています。



簡易無線機 (一時滞在施設、駅、区)	チャンネル:
区危機管理担当	電話 : FAX : Eメール :
災害情報	市ホームページ:「川崎市防災情報ポータルサイト」 http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/disaster.shtml 市の掲載サイト:「川崎市緊急災害情報」 http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/m/ 電車運行状況 「JR東日本運行状況」 http://traininfo.jreast.co.jp/train_info/kanto.aspx 「京急運行状況」 http://www.keikyu.co.jp/train/operation_info.shtml バス運行状況 市バス : http://www.city.kawasaki.jp/820/ 臨港バス : http://www.rinkobus.co.jp/ 東急バス : http://www.tokyubus.co.jp/top/index.shtml ラジオ : かわさきFM(79.1MHz) …インターネットで視聴できます(「サイマルラジオ」) テレビ : tvk(テレビ神奈川3ch)データ放送 SNS : Twitter「 kawasaki_bousai 」
一時避難場所	施設内の安全確保場所 () 施設の安全確認の間は、 () 施設の崩壊や周辺の危険時は、 ()



KAWASAKI CITY

発行：川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会 事務局

川崎市総務局危機管理室 電話 044-200-2850

川崎区役所危機管理担当 電話 044-201-3327

幸 区 役 所 危機管理担当 電話 044-556-6610